

平成27年度
(2015年度)

宇都宮大学 公開講座開催案内



後援

栃木県教育委員会

宇都宮市教育委員会

(公財)とちぎ未来づくり財団

《受付時間》

(月～金) 10:00～12:00/13:00～16:30

TEL: **028-649-5144**

(土・日・祝はお休み)



発行

宇都宮大学地域連携教育研究センター

所在地

〒321-8505 宇都宮市峰町350

TEL: 028-649-5144

FAX: 028-649-5145

E-mail: chiren@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/cercc/>

ポスター・表紙デザイン 松島暁美

目 次

CONTENTS

- I. ご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- II. 平成27年度公開講座開設一覧・・・・・・・・ 2
- III. 平成27年度公開講座実施期間一覧表・・・・ 4
- IV. 受講手続き等について・・・・・・・・・・・・ 8
- V. 公開講座科目内容の紹介・・・・・・・・・・・・12
- VI. 各学部等で進められている地域連携・・・・ 46
- VII. 宇都宮大学構内建物配置図・・・・・・・・・・58
- VIII. 宇都宮大学までの交通・・・・・・・・・・・・60

ご 挨 拶

地域連携教育研究センター長

中島 宗皓

今日の少子高齢化する社会において、地域への生涯学習機会として重要な役割を担っている大学公開講座は、今や全国で年間約3万講座が開講され、受講者数は約130万人を数えます。

平成3年に始めました「宇都宮大学公開講座」は、今年で25回目を迎えます。「地域に学び、地域に返す、地域と大学の支え合い」をモットーに、「知の拠点」として地域への生涯学習機会の提供、社会人の再教育の場として地域連携を積極的に推進し、大学の第3の機能となります「社会貢献」の役割を担っています。

ところで、2012年の「敬老の日」に総務省がまとめた推計人口によりますと、65歳以上の高齢者人口は3074万人で過去最多となりました。いわゆる「団塊の世代」が60歳代を迎え、人口比に対して大きな割合を占める高齢者が、今後より豊かな生活を営む上で、大学公開講座は地域の生涯学習関連機関・団体と連携を図り、地域社会の発展に寄与することが期待されています。

さて、「一挨一拶、その深淺を見んと要す。」という禅の教えがございます。「挨・拶」には「迫る・押す」という意味があり、本来は禅問答によって相手の深淺を計ることを意味します。地域と結びつき、大学独自の講座として発展していくためにも、宇都宮大学公開講座は、より幅広い年齢層の受講者の皆様より、「一挨一拶」の機会を戴けることを切望して止みません。

平成27年度公開講座開設一覧表

No.	公開講座名	担当講師	ページ
連携講座	1 「常識」と「真実」とは合致するのか？ —「驚き桃の木山椒の木」の学術的成果—	宇都宮大学 教員 5名	12
	2 いま、変わる男の働き方 —女性活躍推進のカギは男性にあり！—	内閣府少子化危機突破タスク フォース政策推進チームリー ダー 渥美 由喜	13
	3 基盤教育特別公開講座	工学研究科 大庭 亨 他4名	14
	4 消費者カアップセミナー —自立した消費者を目指しましょう！—	名誉教授 杉原 弘彦 他2名	15
	5 現地で学ぶ「宇都宮学」 —「武士もののふの夢が原」飛山城跡をたずねる—	宇都宮市文化財ボランティア協議会 会長 上野 とも子 他4名	16
	6 アイヌ文化を学ぶ — 講座と講演 —	北海道大学教授 落合 研一 他1名	17
	7 社会参加支援セミナー	地域連携教育研究センター 准教授 佐々木 英和 他2名	18
	8 宇都宮城と蓮池 7 — 中世のハスの再生 —	教育学部教授 松居 誠一郎 他5名	19
国際理解・外国語	9 韓国料理入門 — 韓国料理を通じて韓国語に触れよう —	韓国料理研究家 金 学英	20
	10 タイ料理入門 — タイ料理の特徴を知り、食材に親しむ —	タイ料理研究家 泉田 スジンダ	21
	11 韓国語講座 — 入門・初級・中級コース —	国際学部非常勤講師 崔 寶允 金 多希	22-26
教養・文化	12 「話しあいファシリテーション」の理論 と実践 2015 —「聞きあい」を活性化する人間関係の可能性—	地域連携教育研究センター 准教授 佐々木 英和	27
	13 山形県生まれの四人の文学者たち — 夏期・秋期 —	名誉教授 作新学院大学客員教授 小池 清治	28
	14 書道 — 初級・中級・上級・専門 —	教育学部教授 中島 宗皓	29-32
	15 シャーロック・ホームズの世界に遊ぶ —「シャーロック・ホームズ」の冒険—	名誉教授 大関 清太 他3名	33
	16 日本文明の本質 — 日本文明の本質要素とは何か —	元宇都宮大学客員教授 神長 善次	34
	17 水と微生物の力で進化する 未来型作物栽培	農学部准教授 福井 糧 他1名	35
	18 英語学の新知識 — 英語教育に役立つ英語学の知見を求めて —	名誉教授 浅野 一郎	36
	19 役に立つ気象学 3 — 実生活にすぐ活用できる役立つ気象学—	農学部准教授 高橋 行継	37

	No.	講座名	担当講師	ページ
教養・文化	20	クラシック音楽への招待 2 ーオーケストラ音楽の楽しみ方 2ー	農学部准教授 高橋 行継 栃木県交響楽団 萩町 修	38
	21	フィットネスウォーキング ー健康づくりの基礎と実践を学ぶー	ヨガインストラクター ポールウォーキングコーチ 理学療法士	39
	22	基礎から学ぶ朗読講座 ー心と心をつなぐ朗読ー	役者・朗読家・和洋女子大学 講師 秋元紀子	40
	23	グリムの昔話とヴェーザーベルクラント ー伝承文字の力ー	名誉教授 橋本 孝	41
地域学	24	里山で楽しむランプリング ーぶらぶら歩きながら茂木の里山を撮り食べ合うー	農学部教授 大久保 達弘 他4名	42
	25	民俗学からみた栃木 VI ー年中行事にみる下野人の心と暮らしー	栃木くらし文化研究所代表 柏村 祐司	43
	26	いのちをいただきます ー食と農の視点で、食卓から健康までを考えるー	宇都宮大学認定 食農ファシリテーター	44
	27	鳥獣管理士養成講座	雑草と里山の 科学教育研究センター 教授 小金澤 正昭 他8名	45

平成27年度公開講座実施期間一覧表

No.	講 座 名	定員	受講料	4月			5月		
				上	中	下	上	中	下
1	「常識」と「真実」とは合致するのか？ — 「驚き桃の木山椒の木」の学術的成果—	200	0						
2	いま、変わる男の働き方 — 女性活躍推進のカギは男性にあり！ —	150	0						
3	基盤教育特別公開講座 ① ②	各20	0						①
4	消費者力アップセミナー — 自立した消費者を目指しましょう！ —	20	0						
5	現地で学ぶ「宇都宮学」 — 「武士もののふの夢が原」飛山城跡をたずねる —	20	0						
6	アイヌ文化を学ぶ — 講座と講演 —	30	0						
7	社会参加支援セミナー	15	0						
8	宇都宮城と蓮池 7 — 中世のハスの再生 —	30	0						
9	韓国料理入門 — 韓国料理を通じて韓国語に触れよう —	12	5,000						6/5～
10	タイ料理入門 — タイ料理の特徴を知り、食材に親しむ —	12	5,000						6/10～
11	韓国語講座 ①ゼロからはじめる韓国語 — 韓国語入門 —	15	10,000						6/2～
	韓国語講座 ②すぐに使える韓国語 — 韓国語初級 —	15	10,000						
	韓国語講座 ③初心者のための韓国語入門コース — はじめての韓国語 —	15	10,000						6/3～
	韓国語講座 ④韓国語初級コース — 楽しく身につく韓国語 —	15	10,000						
	韓国語講座 ⑤韓国語中級コース — もっと話せる韓国語 —	15	10,000						
12	「話しあいファシリテーション」の理論と実践 2015 — 「聞きあい」を活性化する人間関係の可能性—	15	15,000						5/19～
13	山形県生まれの四人の文学者たち — 夏期 —	20	5,000						6/4～
	山形県生まれの四人の文学者たち — 秋期 —	20	5,000						
14	書道 — 初級 —	12	5,000						6/4～
	書道 — 中級 —	12	5,000						
	書道 — 上級 —	12	5,000						6/
	書道 — 専門 —	12	5,000						

No.	講 座 名	定員	受講料	4 月			5 月		
				上	中	下	上	中	下
15	シャーロック・ホームズの世界に遊ぶ －「シャーロック・ホームズ」の冒険を通して－	15	10,000						
16	日本文明の本質 － 日本文明の本質要素とは何か －	20	5,000						
17	水と微生物の力で進化する未来型作物栽培 － 超高収量を可能にする多機能浸水栽培の仕組みと実践 －	15	5,000						
18	英語学の新知識 － 英語教育に役立つ英語学の知見を求めて －	15	5,000						
19	役に立つ気象学 3 －実生活にすぐ利活用できる役立つ気象学－	20	5,000						
20	クラシック音楽への招待 2 －オーケストラ音楽の楽しみ方 2－	20	5,000						
21	フィットネスウォーキング － 健康づくりの基礎と実践を学ぶ －	15	5,000						
22	基礎から学ぶ朗読講座 － 心と心をつなぐ朗読 －	20	5,000						
23	グリムの昔話とヴェーザーベルクラント － 伝承文字の力 －	20	10,000						
24	里山で楽しむランブリング － ぶらぶら歩きながら茂木の里山を撮り食べ合う －	15	10,000						5/
25	民俗学からみた栃木 VI － 年中行事にみる下野人の心と暮らし －	20	5,000						
26	いのちをいただきます －食と農の視点で、食卓から健康までを考える－	15	5,000						
27	鳥獣管理士養成講座	20	15,000						6

受講手続き等について

1. 受講対象者

どなたでも受講できます。

2. 受付期間

平成27年5月8日(金)午前10時から受付を開始します。先着順です。定員に達するまで随時受付します。

受付時間 10時～12時、13時～16時30分
(土、日、祝祭日を除く)

受付場所 宇都宮大学地域連携教育研究センター
(構内建物配置図をご参照ください。)

※一部、受付期間が異なる講座がありますのでご注意ください。

3. 申込方法

◇受付初日 5月8日(金)

所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、受講料を添えて地域連携教育研究センターへ直接お申込みください。

※初日は電話、FAX、メールでの受付はいたしません。

◇受付2日目 5月11日(月)以降(2通り)

①直接：受講料を添えて、地域連携教育研究センターへ直接お申込みください。

②口座振込：申込用紙を郵送又はFAXで送付後、3日以内に下記の口座へ受講料を納入ください。

※お振込みをされる前に、必ず受付状況をご確認ください。

口座名義：国立大学法人宇都宮大学 振込先：足利銀行峰町支店 口座番号：普通預金 3217321

※「公開講座受講申込用紙」は、地域連携教育研究センターホームページからダウンロードできますので、印刷してご利用ください。FAX・郵送をご希望の方はご連絡ください。

◇抽選 4月30日(木)締め切りとし、抽選を行う講座があります。詳しくは「抽選応募方法」をご覧ください。

4. 公開講座実施会場

地域連携教育研究センター

※講座の都合により、ほかの会場を使用する場合があります。
各講座の注意事項をご確認ください。

5. 公開講座修了証書の授与

所定の課程（全日程の3分の2以上の出席）を修了した方には修了証書を発行いたします。（有料講座のみ）

6. とちぎ県民カレッジ連携講座について

全ての講座は、とちぎ県民カレッジと連携しています。講座の修了者は、希望により、とちぎ県民カレッジから単位が認定されます。詳細は、栃木県総合教育センター生涯学習部（TEL 028-665-7206）へお問い合わせください。

注意及びお願い

- ◎ 受講料の払い戻しは、お申込み後の日程変更などセンターの都合により受講不可となった場合を除いて原則として行いません。
- ◎ 講座により受講料の他にテキスト代、教材費等が必要になることがあります。各講座の内容に記載してあるもの以外で必要になった場合には、ご連絡いたします。
- ◎ お申込み後、講座開始日時の変更等の特別な場合以外は、連絡はいたしません。講座開始日に直接、会場へお越しください。
- ◎ 受講申込者が少数の場合等、当該講座を中止させていただくことがあります。（開催1ヶ月前までに6名以上の申し込みがある場合に開催します。）
- ◎ 受講料は、おつりのないようにご用意ください。
- ◎ **車で来校される方へ**
お申込み時は、正門案内所にその旨をお伝えください。
受講の際、入構許可証のない車両は本学構内に入構できません。車での来学を希望される方は申込み時にお申し出ください。入構許可証を発行いたします。
なお、入構許可証の発行時に、**使用車のナンバー**が必要となります。

〈問い合わせ先〉

宇都宮大学地域連携教育研究センター

〒321-8505 宇都宮市峰町350

TEL 028-649-5144

FAX 028-649-5145

E-mail chiren@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/cercc/>

（月～金 10:00～12:00/13:00～17:00）

<抽選応募方法について>

例年、どの講座においても、申込み先着順で定員を締め切らせて頂いておりますが、一部の講座で受付開始と同時に定員に達してしまう状況が予想されます。そのため、受付開始時間に交通事情等で申込みに来られないなど、公平性を欠いてしまうため、下記の講座は抽選をさせていただきます。受講を希望される方は下記要領でご応募ください。

◇抽選による申込みの講座

- 5. 現地で学ぶ「宇都宮学」
- 9. 韓国料理入門
- 10. タイ料理入門
- 14. 書道①・②・③・④コース
- 22. 基礎から学ぶ朗読講座

◇応募方法

往復はがき 往信裏面に下記の事項を記入し、宇都宮大学地域連携教育研究センターまでお送りください。4月30日(木)必着です。

- ① 受講希望講座名 (ハガキ1枚につき1講座)
※「14. 書道」はコース毎にお申し込みください。
- ② 郵便番号
- ③ 住 所
- ④ 氏 名
- ⑤ 電話番号 (必ずご連絡がつくもの)
- ⑥ メールアドレス (お持ちの場合)

抽選の上、5月1日(金)以降に受講の可否を通知いたします。受講が決定された方は「3. 申込方法」のとおり、受講手続きを行ってください。

注 意

- ◎ 受講される方のお名前でご応募ください。
- ◎ ひとつの講座につき、お一人様1枚のはがきでお願いいたします。複数枚送っていただいた場合、そのうちの1枚を抽選の対象とさせていただきます。
- ◎ 記入内容に不備等があった場合、抽選の対象から外させていただきます。

記入例

往信：表

返信：裏

<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin-bottom: 10px;"></div> <p style="text-align: center;">3 2 1 - 8 5 0 5</p> <p style="text-align: center;">宇都宮市峰町三五〇 宇都宮大学 地域連携教育研究センター 行</p>	<p>(無記入)</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------

返信：表

往信：裏

<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin-bottom: 10px;"></div> <p style="text-align: center;">ご自分の 住所 氏名</p>	<p>① 受講希望講座名</p> <p>② 郵便番号</p> <p>③ 住 所</p> <p>④ 氏 名</p> <p>⑤ 電話番号</p> <p>⑥ メールアドレス</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

公開講座科目内容の紹介

期 日
5月23日～12月12日

曜 日
土曜日

時間帯
13:30～15:30

－ 読売新聞社・宇都宮大学共催公開講座－

1. 「常識」と「真実」とは合致するのか？

－ 「驚き桃の木山椒の木」の学術的成果－

担当講師

教育学部教授	中島 宗皓
農学部教授	飯郷 雅之
国際学部教授	松金 公正
工学部准教授	上原 伸夫
国際学部准教授	清水 奈名子
読売新聞社宇都宮支局長	森 昭雄

講座の内容

研究を深めれば深めるほど、世間一般に言われている「常識」とは相当に異なる「真実」に突き当たってしまうことがよくあります。その意味で、諸々の学問的な成果とは、従来の常識に疑問を投げかけたり、時に常識をひっくり返したりしてきた歴史的所産でもあります。本講座では、各分野の専門家が「一般に思い込まれている常識」と「学術が明らかにしてきた真実」との間のズレを探ることにより、知的刺激に満ちた時間を提供します。

定 員 200名

受 講 料 無料

プログラム 全5回

月 日	テーマ	担当講師
1. 5月23日(土)	書道はアートの良いのか？	中島
2. 6月20日(土)	学問？科学？ 文系？理系？	飯郷
3. 10月17日(土)	メディアに出る中国は本当の姿か？	松金
4. 11月14日(土)	計測値は常に正しいのか？	上原
5. 12月12日(土)	新聞はどこまで当てになるのか？	清水・森

そ の 他

申込方法 : 4月10日(金) 10時より受付を開始します。
電話・FAXにてお申し込みください。

会 場 : 5B21教室(峰町5号館B棟2階)

期 日
8月25日

曜 日
火曜日

時間帯
13:30~15:30

とちぎ男女共同参画センター&宇都宮市&宇都宮大学連携事業

2. いま、変わる男の働き方

—女性活躍推進のカギは男性にあり！—

担当講師

内閣府少子化危機突破タスクフォース政策推進チームリーダー
厚生労働省政策評価に関する有識者会議委員
(民間シンクタンク研究部長)

渥美 由喜

講座の内容

「女も男も暮らしやすい社会」を実現するためには、男性にこそ新しい意識を持ってもらうことが必要です。

男性の家事・育児への参画はもちろん、男性の育児スタイルや働き方にも変化の時が来ています。

女性が本人の意思に反して就業を継続していくことができないことのないように、男性がどのように関わっていけばよいのか、また、女性の活躍を推進するために取り組むべき労使の課題や、企業における環境整備等についてお話いただきます。

そして、女性の貧困が問題になっている昨今、「自活できる輝く女性」の実現を目指し、彼女たちを応援します。

定 員 150名

受 講 料 無料

プログラム 全1回 8月25日(火) 13:30~15:30

その他

申込方法 : 4月2日(木)より受付を開始します。
パーティホームページ、電話、FAX、直接来館にて
お申し込みください。先着順となります。

とちぎ男女共同参画センター事業推進課
〒320-0071 宇都宮市野沢町4番地1(パーティ内)
Tel 028-665-8323 Fax 028-665-8325
<https://www.parti.jp/>

会 場 : 宇都宮大学 5B21教室(峰町5号館B棟2F)

期 日
6月30日
5月22日～7月10日

曜 日
火曜日
金曜日

時間帯
14:30～16:00
10:30～12:00

3. 基盤教育特別公開講座

担当講師

工学研究科	大庭 亨
消費者庁消費者安全調査委員会	松岡 猛
明治大学名誉教授	向殿政男
日本ヒューマンファクター研究所顧問	垣本由紀子
横浜国立大学環境情報研究院教授	野口和彦

講座の内容

宇都宮大学基盤教育センターでは、本学の正規授業として開講している基盤教育科目の一部を、学外の方々に特別に無料で公開します。基盤教育科目とは、これまで一般的に「一般教育」あるいは「教養教育」と呼ばれてきた授業群を基に、それらを発展的に再編成することを目指した呼び名です。

① より良く生きる

定 員 20名 受 講 料 無料

プログラム 全1回 14:30～16:00

月 日 テーマ

担当講師
大庭

1. 6月30日(火) 夢を見つける

② 危機を見つめる力

定 員 20名 受 講 料 無料

プログラム 全4回 10:30～12:00

月 日 テーマ 担当講師

1. 5月22日(金) 身の回りの消費生活における様々な危険
ー消費者庁、消費者委員会の取り組みー 松岡
2. 6月 5日(金) 危機と安全、安全の定義とリスク 向殿
ー絶対安全は存在しない、安心とは何かー
3. 6月26日(金) 安全とヒューマンファクター 垣本
4. 7月10日(金) 社会安全実現のためのリスクマネジメント 野口

その他

○会場：①陽東キャンパス総合教育棟 212教室

②峰町5号館 ラーニングcommons

構内配置図をご参照下さい。陽東キャンパスにつきましては、陽東キャンパスの案内所でご確認下さい。

○授業内容・日時・教室は変更になる場合がございますので、予めご了承下さい。

○講座開始時間の10分前までに、各教室にお越し下さい。

期 日
11月5日～11月26日

曜 日
木曜日

時間帯
13:30～16:00

栃木県県民生活部くらし安全安心課消費者行政推進室との共催

4. 消費者力アップセミナー

－自立した消費者を目指しましょう！－

担当講師

宇都宮大学名誉教授
栃木県くらし安全安心課
栃木県消費生活センター

杉原弘修
職 員
消費生活相談員

講座の内容

消費生活に関する基礎知識を習得し、消費者トラブルの未然（拡大）防止と自立した消費者を目指します。また、消費者被害防止の観点から地域における高齢者等の見守りを行うポイントを学びます。

定 員 20名

受講料 無 料

プログラム 全4回

月 日	テーマ	担当講師
1. 11月 5日(木)	「虚と実と」詐欺を学ぶ	杉原
2. 11月12日(木)	食品表示を学ぶ	くらし安全安心課職員
3. 11月19日(木)	最近の悪質商法	消費生活相談員
4. 11月26日(木)	高齢者を消費者被害から守るために	くらし安全安心課職員

期 日
11月10日～11月17日

曜 日
火曜日

時間帯
10:00～12:30

NPO法人飛山城跡愛護会との共催

5. 現地で学ぶ「宇都宮学」

— 「武士もののふの夢が原」 飛山城跡をたずねる —

担当講師

宇都宮市文化財ボランティア協議会会長

NPO法人飛山城跡愛護会理事

上野 とも子

NPO法人飛山城跡愛護会会員

鈴木 幸雄・荒井 俊典

大野 昭二・吉澤 伸人

講座の内容

飛山城跡は地域の人々と行政の協働で保存と活用が維持されています。会員の解説ボランティアによる案内で、鎌倉時代後半、芳賀高俊により築城されたと伝えられる飛山城とその周辺の史跡をたずねます。

定 員 20名 (抽 選)

受 講 料 無 料

プログラム 全2回

月 日	テーマ	担当講師
1. 11月10日(火)	国指定史跡 飛山城をめぐる	上野・鈴木・荒井
2. 11月17日(火)	飛山周辺の史跡をたずねる	上野・大野・吉澤

そ の 他

○集合場所は「とびやま歴史体験館」です。

宇都宮市竹下町380-1 TEL 028-667-9400

○雨天決行・中止の場合のみ、各受講者に連絡をします。

○傷害保険料400円を別途ご負担お願いします。申込時に加入手続きをいたしますのでおつりのないようにお持ち下さい。

●抽選応募方法をご確認ください。

期 日
11月21日

曜 日
土曜日

時間帯
10:00~15:00

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構との共催

6. アイヌ文化を学ぶ

—講座と演奏—

担当講師

北海道大学准教授

基盤教育センター特任准教授

落合 研一

若園 雄志郎

講座の内容

アイヌ民族は日本国内各地に居住する先住民族です。例年アイヌ文化および歴史について講座を行ってきましたが、今回の午前の部ではアイヌ民族の現状について学ぶことで私たちの人権感覚を磨きます。午後の部ではアイヌ民族伝統楽器のトンコリおよびムックリの演奏を行います。

※本年はアイヌ民具の展示は行いません。

定 員 30名

受 講 料 無 料

プログラム 全1回

月 日

テーマ

1. 11月21日(土) アイヌ民族の現状と文化

〈第1部〉講義 10:00~12:00

〈第2部〉演奏 14:00~15:00

民族音楽

星野 工(ムックリ)

居壁 太(トンコリ)

期 日
11月30日～12月14日

曜 日
月曜日

時間帯
10:00～12:00

栃木県保健福祉部高齢対策課との共催

7. 社会参加支援セミナー

— Let's Participate in Your Community! —

担当講師

地域連携教育研究センター准教授	佐々木 英和
地域連携教育研究センター准教授	高橋 俊守
基盤教育センター特任准教授	若園 雄志郎

講座の内容

本講座は、シルバー大学校などの卒業生、学習成果を生かした社会参加を希望するシニアの世代の人たちを主対象としています。地域社会の様々な活動に参加したり、ボランティア活動を進めたりする際の心構えなどを学びながら、自分たちで事業を企画・実施するための知識や技術が身につけられるよう配慮しています

定 員 15名

受講料 無 料

プログラム 全3回

月 日	テーマ	担当講師
1. 11月30日(月)	新しい仲間に出会おう!	佐々木
2. 12月7日(月)	地域自然の魅力を知ろう!	高橋
3. 12月14日(月)	何ができるか/したいか考えよう!	若園

期 日
7月19日～10月18日

曜 日
金・土・日

時間帯
13:00～17:00

宇都宮城跡蓮池再生検討委員会との共催

8. 宇都宮城と蓮池 7

—中世のハスの再生—

担当講師

栃木県写真家協会理事
宇都宮城跡蓮池再生検討委員会事務局長
製粉ミュージアム館長
文星芸術大学
農学部准教授
教育学部教授

大手 義雄
印南 洋造
稲垣 泉
大澤 慶子
西尾 孝佳
松居誠一郎

講座の内容

江戸期の絵図には蓮池などの記述があったことから、蓮池跡には必ずや蓮の実があるものと、多くの市民の協力をいただき蓮の実を発見しました。中世後期以降とされる蓮の実から、平成23年7月に淡紅色の綺麗な花が開花しました。この講座では宇都宮城の蓮池に関する宇都宮の文化等を多面的に発掘し報告します。

定 員 30名

受 講 料 無 料

プログラム 全6回

月 日	テーマ	担当講師
1. 7月19日(日)	日清製粉の創業について(学外)	稲垣
2. 10月16日(金)	遺伝子から見た水生植物の世界	西尾
3. //	蓮池周辺の自然環境Ⅶ	松居
4. 10月17日(土)	第13回栃木花蓮写真展作品講評	大手
5. //	「蓮ごよみ」から宇都宮を見る	印南
6. 10月18日(日)	歴史はまちおこしの原点	大澤

そ の 他

○会場：大学会館トークルーム I

○講座の期間中に蓮写真展を大学会館多目的ホールにて開催します。(10月16日・17日 9時～16時、18日 9時～14時)

○7月19日(日)は大学バスで館林に出かけます。

○別途、**傷害保険料200円**をご負担お願いします。申込時に加入手続きをいたしますので、おつりのないようにお持ちください。他の実費等につきましても、各自ご負担願います。

○詳細は申込後にご案内いたします。

期 日
6月5日～7月17日

曜 日
金曜日

時間帯
10:30～13:00

9. 韓国料理入門

－韓国料理を通じて韓国語に触れよう－

コ-ディネーター 教育学部准教授 大森 玲子

担当講師 韓国料理研究家 金 学英

講座の内容

韓国語と韓国料理に興味がある初心者のための講座です。韓国料理の基本的な食材や作り方について学ぶことを通し、韓国語に親しむことを目的にしています。

定 員 12名 (抽 選)

受講料 5,000円

プログラム 全4回

月 日	テーマ
1. 6月 5日(金)	韓国料理の基礎 1
2. 6月19日(金)	韓国料理の基礎 2
3. 7月 3日(金)	韓国料理の基礎 3
4. 7月17日(金)	韓国料理の基礎 4

そ の 他

- 材料費として、別途3,000円が必要です。初回に集めます。
- 調理実習(3～4名/班)を行いますので、エプロン・三角巾・手拭き等を持参して下さい。
- 食べきれない分は各自の判断においてお持ち帰りいただいても結構です。容器は持参ください。
- 会場は、峰町8号館B棟2F調理実習室(10時から入室できます)
- 2年続けての受講はできません。
- 抽選応募方法をご確認ください。

期 日
6月10日～7月22日

曜 日
水曜日

時間帯
13:00～15:30

10. タイ料理入門

ータイ料理の特徴を知り、食材に親しむー

コ ー デ ィ ー ナ ー

教育学部准教授

大森 玲子

担 当 講 師

タイ料理研究家

泉田 スジンダ

講座の内容

タイ料理に用いられる調味料や香辛料には、日本食では使用されない特徴的な風味をもつものが多くあります。この講座では、タイ料理の特徴を知り、用いられる食材に親しむことを目的としています。

定 員

12名 (抽選)

受 講 料

5,000円

プログラム

全4回

月 日

テーマ

1. 6月10日(水) タイ料理の特徴と食材 (講義と簡単な実習)
2. 6月24日(水) タイ料理の基礎1 (実習)
3. 7月 8日(水) タイ料理の基礎2 (実習)
4. 7月22日(水) タイ料理の基礎3 (実習)

その他

- 材料費として、別途3,000円が必要です。初回に集めます。
- 調理実習(3～4名/班)を行いますので、エプロン・三角巾・手拭き等を持参して下さい。
- 食べきれない分は各自の判断においてお持ち帰りいただいても結構です。容器等は持参ください。
- 会場は、峰町8号館B棟2F調理実習室(12時30分から入室できます)
- 抽選応募方法をご確認ください。

期 日
6月2日～8月4日

曜 日
火曜日

時間帯
13:00～15:00

11. 韓国語講座

コ-テ`ネ-ター

国際学部教授

丁 貴連

① ゼロからはじめる韓国語

—韓国語入門—

担当講師

国際学部非常勤講師

崔 寶允

講座の内容

ゼロからはじめる方のための韓国語入門講座です。韓国語の正しい発音と書き方を丁寧に指導します。自然にハングル（文字）が読めることを目標とします。言語の背景にある韓国文化についても触れていきます。（授業内容によって韓国ドラマや映画、k-pop 等を用いる場合があります。）

定 員

15名

受講料

10,000円

プログラム

全10回

月 日	テーマ
1. 6月 2日(火)	한한(ハングル)について/基本母音
2. 6月 9日(火)	基本子音(1)
3. 6月16日(火)	基本子音(2)
4. 6月23日(火)	激音と濃音
5. 6月30日(火)	パッチム
6. 7月 7日(火)	合成母音
7. 7月14日(火)	発音の変化-連音化
8. 7月21日(火)	韓国 TV コマーシャルの台詞を聞いて読んでみよう
9. 7月28日(火)	自己紹介-일본 사람이 아닙니다.
10. 8月 4日(火)	否定文-저는 일본 사람입니다.

その他

テキスト：できる韓国語初級 I 李志暎著 DEKIRU 出版
第1回目にテキスト購入について説明します。

期 日
10月6日～12月15日

曜 日
火曜日

時間帯
13:00～15:00

11. ②すぐに使える韓国語

—韓国語初級—

担当講師

国際学部非常勤講師

崔 寶允

講座の内容

ハングル文字が読めて次のステップを目指す方のための講座です。日常生活でよく使われる文型を中心に会話の練習をしていきます。講座が終わる頃は簡単な会話ができるようになります。また、言語の背景にある韓国文化についても触れていきます。(授業内容によって韓国ドラマや映画、k-pop 等を用いる場合があります。)

定 員

15名

受講料

10,000円

プログラム

全10回

月 日

テーマ

1. 10月6日(火) 指示代名詞 -그건 뭐예요?
2. 10月13日(火) 약속이 있습니다.(家族の呼称)
3. 10月20日(火) 位置関係を表す言葉 -회사는 어디에 있어요?
4. 10月27日(火) 丁寧形 -주말에는 뭐 합니까?
5. 11月10日(火) 否定文 -그렇게 멀지 않습니다.
6. 11月17日(火) 漢字語数詞の読み方 -언제 갑니까?
7. 11月24日(火) ~よ体 -부산까지 어떻게 가요?
8. 12月1日(火) 固有語の数詞の読み方 -몇 시부터예요?
9. 12月8日(火) 過去形 -언제 일본에 왔어요?
10. 12月15日(火) 韓国語で年賀状を書いてみよう、韓国のお正月

その他

テキスト：できる韓国語初級 I 李志暎著 DEKIRU 出版
第1回目にテキスト購入について説明します。

期 日
6月3日～8月5日

曜 日
水曜日

時間帯
14:30～16:30

11. ③初心者のための韓国語入門コース

－はじめての韓国語－

担当講師

国際学部非常勤講師

金 多希

講座の内容

初めて韓国語に接する方を対象にする入門コースです。
まずは基本となる文字、ハングルの読み・書きをはじめ、韓国語で簡単な自己紹介ができることを目指します。

定 員

15名

受講料

10,000円

プログラム

全10回

月 日

テーマ

1. 6月 3日(水) 韓国語と文字
2. 6月10日(水) 基本母音字・基本子音字
3. 6月17日(水) 合成子音字・合成母音字
4. 6月24日(水) バッチム・連音化
5. 7月 1日(水) いろいろなあいさつ・復習
6. 7月 8日(水) 自己紹介 - 나는 일본 사람입니다.
7. 7月15日(水) 指示代名詞 - 이것은 무엇입니까?
8. 7月22日(水) 家族 - 누구의 책임니까?
9. 7月29日(水) 位置 - 학교는 어디에 있습니까?
10. 8月 5日(水) 総まとめ

そ の 他

テキスト：韓国語をはじめよう（初級）李昌圭 朝日出版社
○第1回目にテキストの販売をいたします。必要な方は申込時に注文してください。

期 日
8月19日～10月28日

曜 日
水曜日

時間帯
14:30～16:30

11. ④韓国語初級コース

－楽しく身につく韓国語－

担当講師

国際学部非常勤講師

金 多希

講座の内容

すでにハングル文字の読み・書きができる方を対象にする初級コースです。文法の基礎表現を習得しながら、初歩的な読み、書き、聞き取りの力を伸ばせることを目指します。

定 員 15名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

月 日	テーマ
1. 8月19日(水)	入門コース復習
2. 8月26日(水)	動詞 -무엇을 합니까?
3. 9月 2日(水)	方向と場所 -어디에 갑니까?
4. 9月 9日(水)	形容詞 -날씨는 어떻습니까?
5. 9月16日(水)	漢字数詞 -오늘은 며칠입니까?
6. 9月30日(水)	固有数詞 -한 개에 얼마입니까?
7. 10月 7日(水)	敬語 -어디에 사십니까?
8. 10月14日(水)	過去形 -어제 무엇을 했어요?
9. 10月21日(水)	未来形・意志 -무엇을 먹을까요?
10. 10月28日(水)	総まとめ

その他

テキスト：韓国語をはじめよう（初級）李昌圭 朝日出版社
第1回目にテキスト購入について説明します。

期 日
11月4日～1月20日

曜 日
水曜日

時間帯
14:30～16:30

11. ⑤韓国語中級コース

—もっと話せる韓国語—

担当講師

国際学部非常勤講師

金 多希

講座の内容

韓国語初級コースで習得した文法や基本フレーズを確かめながら、表現力を少しずつ養っていきます。自然に韓国語がもっと話せることを目指します。

定 員 15名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

月 日

テーマ

1. 11月 4日(水) 初級コース復習
2. 11月11日(水) 理由(～아/어/해서)-늦어서 미안합니다.
3. 11月18日(水) 希望・願望表現(～고 싶다)
-비빔밥을 먹고 싶어요?
4. 11月25日(水) 意図・意志(～ㄹ(을)게요) -요즘 바빠요?
5. 12月 2日(水) 連体形(～는/ㄴ(은)/ㄹ(을))
-어디서 찍은 사진이에요?
6. 12月 9日(水) 経験(～아/어/해 보다)
-자세히 설명해 드리겠습니다.
7. 12月16日(水) 時間の経過(～ㄴ(은) 지)
-한국에 온 지 얼마나 되었어요?
8. 1月 6日(水) 仮定文(～(으)면)-미술관은 여기서 가까워요?
9. 1月13日(水) 動作の並行(～(으)면서)
-운전하면서 전화하지마세요.
10. 1月20日(水) 総まとめ

その他

テキスト：韓国語をはじめよう（中級）李昌圭 朝日出版社
第1回目にテキスト購入について説明します。

期 日
5月19日～11月17日

曜 日
火曜日

時間帯
18:45～20:45

12. 「話しあいファシリテーション」の理論と実践 2015

－「聞きあい」を活性化する人間関係の可能性－

担当講師

地域連携教育研究センター准教授

佐々木 英和

講座の内容

誰もが簡単にやれているようでいて、実際には意外と成立していないのが「話しあい」です。本講座は、話しあいを「話しこみ」・「黙りあい」・「言いあい」の域にとどめず、生産性の高い営みへと高めていくための基本姿勢や技法などを身につけることが目標です。

定 員 15名

受 講 料 15,000円

プログラム 全15回

月 日

テーマ

1. 5月19日(火) 「ファシリテーション」とは何か？
2. 5月26日(火) 「聞く・聴く・訊く」の深みと広がり
3. 6月2日(火) 「伝える」と「伝わる」との段差
4. 6月9日(火) プレゼンテーション洗練とPR戦略
5. 6月16日(火) ソリューション志向の話しあいの基礎
6. 6月23日(火) ソリューション志向の話しあいの実践
7. 6月30日(火) クリエーション志向の話しあいの基礎
8. 7月7日(火) クリエーション志向の話しあいの実践
9. 7月14日(火) 「話しあいファシリテーション」の実践
10. 10月6日(火) 「自己表出と仲間づくり」志向の話しあい
11. 10月13日(火) 文章作成技術を応用した会議運営
12. 10月20日(火) 「Why? What? How?」の会議運営
13. 10月27日(火) 「現実直視・問題発見」と「理想追求・方法創造」
14. 11月10日(火) 「メタ会議」の意義と効用
15. 11月17日(火) 「話しあいファシリテーター」の役割

そ の 他

プログラムを体系的に編成している都合上、第1回目(5月19日)からの受講を強くお勧めしています。また、最後まで続けて出席できる人の受講を優先しています。

期 日
6月4日～7月2日
10月8日～11月5日

曜 日
木曜日
木曜日

時間帯
10:00～12:00
10:00～12:00

13. 山形県生まれの四人の文学者たち

担当講師

作新学院大学客員教授

小池 清治

講座の内容

歌人 斎藤茂吉の歌集に始まり、丸谷・藤沢・井上の多彩な作品に触れ、人と文学について考える。

① 夏 期

定 員 20名

受 講 料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

1. 6月 4日(木) 斎藤茂吉の人生と作品『赤光』から『柿本人麿』まで
2. 6月11日(木) 丸谷オーの人生と作品①『エホバの顔を避けて』
3. 6月18日(木) 作品②『笹まくら』『年の残り』『彼方へ』『横しぐれ』
4. 6月25日(木) 作品③『日本語のために』『文章読本』『日本文学史早わかり』『後鳥羽院』
5. 7月 2日(木) 作品④『たった一人の反乱』から『輝く日の宮』まで

② 秋 期

定 員 20名

受 講 料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

1. 10月 8日(木) 藤沢周平の人生と作品①『半生の記』『暗殺の年輪』
2. 10月15日(木) 作品②『溟い海』『又蔵の火』『雲奔る』
3. 10月22日(木) 作品③『一茶』『白い瓶』『三屋清左衛門残日録』など
4. 10月29日(木) 井上ひさしの人生と作品①『モッキンポット師の後始末』
5. 11月 5日(木) 作品②『花石物語』から『東京セブンローズ』まで

期 日
6月4日～10月8日

曜 日
木曜日

時間帯
17:40～19:40

14. 書道

担当講師

中島 宗皓
(教育学部教授 中島 望)

講座の内容

書道は「藝道」という日本独自の藝術思想によって発展し、今日的アートとは本質的に異なる。本講座の目標は、「書の本道」を学び、書道をより身近なものにすることにあります。

①初級コース

カタカナと楷書の基礎を学ぶ。

定 員 12名 (抽選)

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

1. 6月4日(木) 毛筆の特性と正しい扱い方とは
2. 6月18日(木) カタカナの正しい書き方を学ぶ
3. 7月2日(木) 楷書体の正しい書き方を学ぶ
4. 7月16日(木) 楷書の古典から臨書法を学ぶ
5. 10月8日(木) 楷書とはどういう書体かを学ぶ

その他

- 初心者、経験者を問いません。本学の公開講座「書道」を初めて受講される方に限ります。
- 本学の公開講座「書道」の各コース修了者は受講できません。
- 初級コースは、小・中学校で学ぶ国語科「書写」程度の内容から始めます。
- 毛筆と下敷きは指定します。その他の用具・用材は教室で購入できます。
- 第4回に臨書の課題を出します。第5回の資料、また中級コースへの準備として必要です。
- 会場は峰町6号館2階(東)書道教室です。16時10分より入室できますので、課題を進めるなどの自習にお使いください。なお、当日までの課題は18:10分までにお済ませください。
- 抽選応募方法をご確認ください。

期 日
10月22日～12月17日

曜 日
木曜日

時間帯
17:40～19:40

14. ②中級コース

ひらがなと行書の基礎を学ぶ。

定 員 12名 (抽 選)

受 講 料 5,000円

プログラム 全5回

月 日 テーマ

1. 10月22日(木) ひらがなの正しい書き方を学ぶ
2. 11月 5日(木) 行書体の正しい書き方を学ぶ
3. 11月19日(木) 行書の古典から臨書法を学ぶ
4. 12月 3日(木) 古筆から仮名の臨書法を学ぶ
5. 12月17日(木) 行書とはどういう書体かを学ぶ

そ の 他

- 本学の公開講座「書道（初級コース、または大人のお習字）」を修了された方に限ります。
- 本学の公開講座「書道」の専門コース修了者は受講できません。
- 中級コースは、国語科「書写」および高等学校芸術科「書道」程度の内容から始めます。
- 毛筆と下敷きは指定します。その他の用具・用材は教室で購入できます。
- 第5回に臨書の課題を出します。上級コースへの準備として必要です。
- 会場は峰町6号館2階（東）書道教室です。16時10分より入室できますので、課題を進めるなどの自習にお使いください。なお、当日までの課題は18:10分までにお済ませください。
- 抽選応募方法をご確認ください。

期 日
6月11日～10月22日

曜 日
木曜日

時間帯
17:40～19:40

14. ③上級コース

篆書体・隸書体・草書体を古典から学び、五体から一つ、得意とする書体の半切臨書を行う。

定 員 12名（抽選）

受講料 5,000円

プログラム 全5回

- | 月 日 | テーマ |
|--------------|------------------|
| 1. 6月11日(木) | 楷書体と行書体の臨書を復習する |
| 2. 6月25日(木) | 篆書体の古典臨書と表現法を学ぶ |
| 3. 7月9日(木) | 隸書体の古典臨書と表現法を学ぶ |
| 4. 7月30日(木) | 草書体の古典臨書と表現法を学ぶ |
| 5. 10月22日(木) | 半切臨書（1書体）の表現法を学ぶ |

そ の 他

- 本学の公開講座「書道（中級コース、または大人のお習字）」を修了された方に限ります。
- 本学の公開講座「書道」の専門コース修了者は受講できません。
- 上級コースは、高等学校芸術科「書道」程度の内容から始めます。
- 毛筆と下敷きは指定します。その他の用具・用材は教室で購入できます。
- 第4回に半切臨書の課題を出します。専門コースへの準備として第5回に持参ください。
- 会場は峰町6号館2階（東）書道教室です。16時10分より入室できますので、課題を進めるなどの自習にお使いください。なお、当日までの課題は18:10分までにお済ませください。
- 抽選応募方法をご確認ください。

期 日
10月29日～12月24日

曜 日
木曜日

時間帯
17:40～19:40

14. ④専門コース

各自が進める制作（個別テーマ）への助言を行う。

定 員 12名（抽選）

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ
1. 10月29日(木)	課題作品の鑑賞から表現法を学ぶ
2. 11月12日(木)	個別テーマによる作品制作 その1
3. 11月26日(木)	個別テーマによる作品制作 その2
4. 12月10日(木)	個別テーマによる作品制作 その3
5. 12月24日(木)	表装の様式を学ぶ（作品最終選別）

そ の 他

- 本学の公開講座「書道（上級コース）」を修了された方に限りま
す。
- 本学の公開講座「書道（大人のお習字）」修了者は「上級コース」
から受講してください。
- 初回到半切以上、または相当程度の作品（臨書を含む）を持参く
ださい。
- 専門コースで制作した作品は、「宇都宮大学学生書道展」に出品
します。（表装費は実費）
- 専門コース（制作の時間）は、毎年何度でも受講できます。
- 会場は峰町6号館2階（東）書道教室です。16時10分より入
室できますので、課題を進めるなどの自習にお使いください。なお、
当日までの課題は18：10分までにお済ませください。
- 抽選応募方法をご確認ください。

期 日
6月4日～10月29日

曜 日
木曜日

時間帯
13:30～15:30

15. シャーロック・ホームズの世界に遊ぶ

—「シャーロック・ホームズの冒険」を通して—

担当講師

名誉教授	大関 清太
名誉教授	高際 澄雄
工学部准教授	寄川 弘玄
昭和女子大学教授	中西 裕

講座の内容

探偵小説の世界を確立したドイルの作品、シャーロック・ホームズを色々な切り口で楽しみます

定 員 15名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

	月 日	テーマ	担当講師
1.	6月4日(木)	花婿・花嫁失踪事件	大関
2.	6月11日(木)	オレンジの種五つ	高際
3.	6月18日(木)	延原謙	中西
4.	6月25日(木)	赤毛連盟	寄川
5.	7月2日(木)	人気投票	大関
6.	10月1日(木)	ボスコム谷・緑柱石	大関
7.	10月8日(木)	ブナ屋敷	高際
8.	10月15日(木)	無限に広がる世界	中西
9.	10月22日(木)	技師の親指	寄川
10.	10月29日(木)	山中峯太郎の暗号日記	大関

その他

『シャーロック・ホームズの冒険』は文庫本で購買できます。

期 日
10月1日～10月29日

曜 日
木曜日

時間帯
15:00～17:00

16. 日本文明の本質

—日本文明の本質要素とは何か—
The core of civilization of Japan

担当講師

元宇都宮大学客員教授

神長 善次

講座の内容

日本文明の中のいかなる本質が世界文明として評価されるものなのか、を検証する

定 員 20名

受 講 料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ
1. 10月 1日(木)	講義概観
2. 10月 8日(木)	日本文明の環境
3. 10月15日(木)	日本文明の体制
4. 10月22日(木)	日本文明の精神文化
5. 10月29日(木)	まとめ(日本文明の本質)

期 日

1月27日～2月24日

曜 日

水曜日

時間帯

17:50～19:50

17. 水と微生物の力で進化する未来型作物栽培

— 超高収量を可能にする多機能浸水栽培の仕組みと実践 —

担当講師

農学部准教授

(有)T&Tナーサリー代表取締役

福井 糧

手塚 博志

講座の内容

作物を栽培する上で、解っているようで解っていないのが、根の生長と発達に欠かせない「土」と「水」です。この講座では、土壌が水浸しになるくらい多灌水で栽培する『愛華農法』を解析することで、「土」と「水」について再考し、それらに対する誤解を払拭して、新たな超高収性栽培技術の手がかりについて皆さんと一緒に考えます。

定 員

15名

受講料

5,000円

プログラム

全5回

月 日

テーマ

1. 1月27日(水) 土壌水の性状・機能とその循環、浸水栽培の原理
2. 2月 3日(水) 土壌の物理性／理化学性
3. 2月10日(水) 土壌中における無機肥料成分の特性・機能とその循環
4. 2月17日(水) 土壌微生物と有機物の役割及びその機能
5. 2月24日(水) ディスカッション／愛華農法の特性とその実践

期 日
8月29日～9月26日

曜 日
土曜日

時間帯
13:30～15:30

18. 英語学の新知識

— 英語教育に役立つ英語学の知見を求めて —
New Findings in English Linguistics

担当講師

名誉教授 浅野 一郎

講座の内容

言語研究が科学として確立し、脳の中に実在する言語能力が研究の目標となりつつあります。英語教育に役立つと思われる英語学のテーマとともに、今年は脳神経科学の知見にも触れたいと思っています。

定 員 15名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ
1. 8月29日(土)	言語学・英語学の分野
2. 9月 5日(土)	日本語と英語の音声
3. 9月12日(土)	日本語と英語の文構造 I
4. 9月19日(土)	日本語と英語の文構造 II
5. 9月26日(土)	脳の言語機能

その他

資料はハンドアウトとして配布します。

期 日

1月25日～2月22日

曜 日

月曜日

時間帯

18:45～20:45

19. 役に立つ気象学 3

—実生活にすぐ利活用できる役立つ気象学—

担当講師

農学部准教授

高橋 行継

講座の内容

日本ほど四季の変化が明瞭で、天気の変化が激しい国は世界的にみても少ないです。本講座では気象に関心を持ってもらい、巷に溢れる気象情報を上手に活用していく知識をお教えします。3年連続シリーズの3年目です。

定 員

20名

受講料

5,000円

プログラム

全5回

月 日

テーマ

1. 1月25日(月) 農業気象災害
2. 2月 1日(月) 交通と気象
3. 2月 8日(月) 気象庁と気象会社
4. 2月15日(月) 地球温暖化 (1)
5. 2月22日(月) 地球温暖化 (2)

期 日
8月10日～8月26日

曜 日
月・火・水曜日

時間帯
19:00～21:00

20. クラシック音楽への招待 2

ーオーケストラ音楽の楽しみ方 2ー

担当講師

農学部准教授
栃木県交響楽団

高橋 行継
荻町 修

講座の内容

クラシック音楽は「学校で教わる音楽」イコール「勉強」というイメージがあるせいか、愛好者が少ない。講座ではオーケストラ音楽を取り上げ、前半はオーケストラを構成する楽器紹介、アマチュアオーケストラが演奏会を開くまでの過程や苦労話等を紹介する。講座後半はオーケストラ鑑賞のツボを紹介、クラシック音楽を身近に感じてもらい、愛好者拡大を目指したい。

定 員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ	担当講師
1. 8月10日(月)	楽器紹介(木管楽器)、オーケストラの基礎知識	高橋
2. 8月17日(月)	楽器紹介(金管楽器)、演奏会を開く(1)	高橋
3. 8月24日(月)	楽器紹介(弦楽器)、演奏会を開く(2)	高橋
4. 8月25日(火)	オーケストラの楽しみ方(1)	荻町・高橋
5. 8月26日(水)	オーケストラの楽しみ方(2)	荻町・高橋

その他

会 場

8月10日・17日・24日(月)
8月25日(火)・26日(水)

地域連携教育研究センター
宇都宮大学峰ヶ丘講堂

期 日
6月13日～10月10日

曜 日
土曜日

時間帯
14:00～16:00

21. フィットネスウォーキング

－健康づくりの基礎と実践を学ぶ－

担当講師

ヨガインストラクター	遠藤 綾乃
ポールウォーキングコーチ	山形 正巳
理学療法士	秋田 聖司

講座の内容

ヨガ・ポールウォーキング等の運動を通じ、心と体の健康づくりの基礎と実践を学ぶ。日常生活で取り入れるためのコツを学ぶ。

- ・ヨガで体の基礎的な動きを実践し学ぶ
- ・2本杖を使った効果的なポールウォーキングの基礎と実践を学ぶ
- ・理学療法士による運動のコツと健康づくりを学ぶ

定 員 15名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ	担当講師
1. 6月13日(土)	効果的な運動方法とストレッチ	秋田
2. 7月11日(土)	ヨガで体の基本を知り作る	遠藤
3. 8月 8日(土)	ヨガでウォーキングの効果を上げる筋肉を作る	遠藤
4. 9月12日(土)	2本杖ウォーキング病気予防と仲間づくり	山形
5. 10月10日(土)	ポールウォーキングで地域活動と健康づくり	山形

その他

- 会場：UUプラザ と 大学構内（遊歩道など）
- 費用：資料代100円
 - ：ヨガマットレンタル代100円/1回
 - ：専用2本杖ポールレンタル代500円/1回
- 実技がある日は動きやすい服装でおこしください。
- 飲み物やタオルなどご用意ください。

期 日
7月3日～7月24日

曜 日
金曜日

時間帯
13:00～15:30

22. 基礎から学ぶ朗読講座

一心と心をつなぐ朗読

担当講師

役者・朗読家・和洋女子大学・東京アナウンス学院演劇講師
秋元 紀子

講座の内容

朗読のための発声と呼吸の方法を学びます。
朗読に関心のある方は、どなたでも受講できます。

定 員 20名（抽選）

受講料 5,000円

プログラム 全4回

月 日	テーマ
1. 7月3日(金)	声の仕組みと発声について
2. 7月10日(金)	読解力と表現力について
3. 7月17日(金)	伝える意識と間について
4. 7月24日(金)	朗読の発表

その他

○会 場：UUプラザ

○毎回簡単なストレッチと呼吸・発声をやりますので、動きやすい服装で、お越し下さい。

●抽選応募方法をご確認ください。

期 日
10月15日～2月18日

曜 日
木曜日

時間帯
13:30～15:30

23. グリム童話とヴェーザーベルクラント

— 伝承文学のカー

担当講師

名誉教授

橋本 孝

講座の内容

ドイツのヴェーザーベルクラントの田舎町を紹介しながら、故郷の美しさと庶民の生活をグリム童話や民話を読みながら、祖先の残した伝承文学の力を考えます。

定 員 20名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

	月 日	テーマ
1.	10月15日(木)	ドイツとドイツ人
2.	10月22日(木)	ヴェーザーベルクラント
3.	10月29日(木)	ハーナウとシュタイナウ
4.	11月 5日(木)	マーブルクとカッセル
5.	11月12日(木)	ハノーヴァーシェ・ミュンデ
6.	1月14日(木)	ボーデンウェルターとハーメルン
7.	1月21日(木)	ハーメルンのねずみとり
8.	1月28日(木)	バート・ゾーデン・アレンドルフ
9.	2月 4日(木)	ゲッティンゲンとブラーケル
10.	2月18日(木)	ヴェーザールネッサンスについて

その他

テキストはコピーを使います。

期 日
5月23日～12月5日

曜 日
土曜日

時間帯
9:00～14:00

24. 里山で楽しむランブリング

—ぶらぶら歩きながら茂木の里山を撮り食べ語りあう—

コーディネーター

平井 雅世

担当講師

森林科学科

大久保 達弘

農業経済学科

原田 淳

里山記録写真家

柳下 征史

里山料理人

仲川 久雄

麦わら工房

矢野 茂

虹色の里あじ彩協議会

協力

茂木町 道の駅もてぎ

講座の内容

茂木町の里山を、ゆっくり歩きながら季節ごとの風景や自然を楽しみ、写真に収め、地域ならではの食材を味わい、地元の方々と語りあう4回の日帰りツアーです。春のぶらぶら歩きでは、里山の記録写真家と一緒に古道や棚田などを散策し、秋には、自ら生産農家を訪問して収穫した野菜と旬の那珂川産サケ（予定）を使って同行するシェフがキッチンカーで料理し、それらをいただく予定です。最終回は、各自が撮りためた写真を「道の駅もてぎ」ギャラリーにて展示し、フォトコンテストを行います。里山の魅力を満喫できるプログラムです。

定 員 15名 受講料 10,000円 プログラム 全4回

月 日	テーマ	担当講師
1. 5月23日(土)	ピザ焼き・押し花づくりと里山記録写真家と行く春の里山古道散策（川又地区周辺） 大久保・原田・平井・柳下・虹色の里あじ彩協議会	
2. 7月18日(土)	蛍籠づくりと夏の里山棚田散策（小深地区周辺） 大久保・原田・平井・矢野	
3. 11月14日(土)	農産物収穫体験とキッチンカー料理で楽しむ秋の里山の恵み（大瀬地区周辺）	大久保・原田・平井・仲川
4. 12月5日(土)	「私の里山」フォトコンテストとまちなか散策 大久保・原田・平井	

その他

○傷害保険料 800 円をご負担お願いします。申込時に加入手続きをいたしますので、おつりのないようにお持ちください。○大学のバスを利用します。正門案内所前 8:40 集合、8:50 出発です。○実費として、毎回 2,000 円程度必要です。詳細は申込後にご案内いたします。○講座で撮った写真を 12 月初旬より道の駅もてぎ内ギャラリーに展示します。フォトコンテストへの参加は自由です。

期 日
9月2日～10月7日

曜 日
水曜日

時間帯
13:30～15:30

25. 民俗学からみた栃木VI

一年中行事にみる下野人の心と暮らし

担当講師

栃木くらし文化研究所代表

柏村 祐司

講座の内容

毎年毎年その時期になると繰り返し行われる行事を年中行事という。正月や盆、節句などに代表されるが、ここでは栃木県内で行われてきた主な年中行事を取り上げ、人々はどうしてそのような年中行事を行ってきたのか、暮らしの中でも年中行事の意味合いを探ろうとするものである。

定 員 20名

受 講 料 5,000円

プログラム 全5回

- | 月 日 | テーマ |
|--------------|------------------------------|
| 1. 9月 2日(水) | お正月はなぜ目出度いか。お年玉とは |
| 2. 9月 9日(水) | どんど焼きなどにみられる多様な小正月行事 |
| 3. 9月16日(水) | 農作業にまつわる春と秋の行事。初午行事とシモツカレ |
| 4. 9月30日(水) | 桃の節句と端午の節句。お雛様を飾り、ショウブ湯に入るわけ |
| 5. 10月 7日(水) | お盆は仏教行事か。盆行事に見られる祖霊信仰 |

期 日
8月1日～12月5日

曜 日
土曜日

時間帯
13:30～15:30

26. いのちをいただきます

—食と農の視点で、食卓から健康までを考える—

担当講師

宇都宮大学認定食農ファシリテーター

鈴木 知子

宇都宮大学認定食農ファシリテーター

和久井 隆

講座の内容

放射能汚染により、食と健康への関心が高まる中、自然栽培による野菜の育て方から、個々の体質に合った食物の選び方、免疫力を上げる生活習慣、そして心の健康法まで幅広く学びます。

定 員 15名

受 講 料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ	担当講師
1. 8月 1日(土)	畑の放射能汚染と対策	和久井
2. 9月 5日(土)	大きいことは良いことか？	和久井
3. 10月 3日(土)	困難に打ち勝つ力	鈴木
4. 11月 7日(土)	あなたの体質は？	和久井
5. 12月 5日(土)	自然の力・信じる力	和久井

そ の 他

- 材料費として、別途2,000円が必要です。初回に集めます。
- 自然栽培で育った旬の野菜を味付け無しで食べていただき、毎回、自然栽培の野菜のお土産付きです。
- プログラムとは別に、希望者は自然栽培の畑（鹿沼市）をご案内します。

期 日
6月6日～9月26日

曜 日
土曜日

時間帯
10:00～17:00

(一般社団法人) 鳥獣管理技術協会との共催

27. 鳥獣管理士養成講座

担当講師

雑草と里山の科学教育研究センター教授	小金澤 正昭
地域連携教育研究センター准教授	高橋 俊守
鳥獣管理技術協会理事	辻岡 幹夫
鳥獣管理士	高橋 則夫
農林水産省中央農業総合研究センター	仲谷 淳
長岡技術科学大学准教授	山本 麻希
新潟大学農学部助教	望月 翔太
日本獣医生命科学大学教授	羽山 伸一
鳥獣管理士	阪本 勝憲

講座の内容

農作物や森林被害、生活安全など、全国各地で深刻化しつつある、人と野生鳥獣の軋轢問題を解消するために必要な知識と技術を学びます。地域の鳥獣被害を自治体や専門家らと連携して解決する「鳥獣管理士」を目指す方を対象にしています。修了すると、一般社団法人鳥獣技術協会が実施する鳥獣管理士（2級）資格認定試験の受験資格が得られます。

定 員 20名 受講料 15,000円 プログラム 全13回

	月 日	テーマ	担当講師
1.	6月 6日(土)	野生鳥獣管理の基礎と被害防止技術	小金澤
2.	〃	自治体による鳥獣対策の現状と課題	辻岡
3.	〃	鳥獣管理と地域連携	高橋(俊)
4.	6月13日(土)	鳥獣被害の現場(学外学習)	高橋(則)
5.	8月22日(土)	野生鳥獣の生態と保護管理	小金澤
6.	〃	イノシシによる農作物被害と管理	仲谷
7.	〃	カワウによる被害と保護管理	山本
8.	8月29日(土)	シカによる森林生態系被害と管理	小金澤
9.	〃	サルによる農作物被害と管理	望月
10.	9月19日(土)	鳥獣対策の実際(学外学習)	阪本
11.	9月26日(土)	集落環境診断と住民意識	高橋(俊)
12.	〃	外来種による被害と管理	羽山
13.	〃	クマによる被害と管理	小金澤

その他

○講義と学外学習から構成されています。講義、学外学習ともに午前10時から午後5時までです。

○別途、傷害保険料400円をご負担お願いします。申込時に加入手続きをいたしますので、おつりのないようにお持ちください。

国際学部・国際学研究所

国立大学法人唯一の国際学部・国際学研究所では、国際的人材養成を目的とする教育を社会へ還元するために、公開講座や出張講義をとおして国際的な社会・文化事象に関する教育・研究成果をわかりやすく地域社会へ提供しています。

○ 国際学部社会人入試選抜学生募集

広く社会人を学部学生として受け入れるため、小論文・英語読解・面接などによる特別選抜を実施しています。

○ 国際学研究所博士前期課程社会人特別選抜学生募集

企業、自治体等で活躍している方、国際交流・貢献活動経験者等のキャリア・アップを目指す方、社会貢献を考えている団塊の世代、主婦などの社会人を、大学院博士前期課程の学生として受け入れるために、口述試験等による特別選抜を実施しています。勤務条件や通学時間を考慮した授業時期や時間を設けて、夜間や土曜日等にも開講しています。

○ 教育訓練給付制度の講座指定（国際社会研究専攻・国際交流研究専攻）

国際学研究所国際社会研究専攻生及び国際交流研究専攻生で、雇用保険の被保険者または被保険者であった期間が3年以上の方（ただし、初回に限り、1年以上の者）は、博士前期課程修了後、大学に支払った経費の20%に相当する額（上限10万円）の支給を受けられます。これは、雇用保険の給付制度です。詳細はハローワークへお問い合わせ下さい。

○ 国際学部・国際学研究所講演会・シンポジウム

年数回、その時々に応じた講演題目で学生・教職員を対象に学外の多様な方の講演会等を開いています。一般の方も参加することができます。

○ 国際キャリア開発プログラム

国際分野の豊富な経験を有する講師を招き、国際的な仕事の意義や知識を考えるワークショップやディスカッションを取り入れた2泊3日の合宿形式の集中授業である「国際キャリア開発」及び「International Career Seminar」を実施しています。他大学や一般の方も参加することができます。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

問い合わせ先（国際学部）

TEL : 028-649-5164 FAX : 028-649-5171

E-mail : koksomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

<http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/index.html>

[附属多文化公共圏センター]

附属多文化公共圏センターは、地域社会や自治体・市民団体などと協力して外国人やそのコミュニティと関連する問題の解決に貢献していくことを目的としています。

本センターでは、毎年グローバル教育セミナーや国際連携シンポジウム、連続市民講座などを実施している他、国際交流協会との交流事業も行っています。(第5回グローバル教育セミナー「子どもの貧困とグローバル教育」、宇都宮大学生国際連携シンポジウム2013「ASEAN から相互理解・相互協力を学ぶ～日本の進むべき道を考える～」)

イベントの詳細については、随時ホームページにてご案内していますのでご覧ください。

その他、次のようなプロジェクトも実施しています。

○福島乳幼児妊産婦支援プロジェクト (FSP)

栃木県に避難している乳幼児・妊産婦世帯等、栃木県北の未就学児世帯のニーズを、アンケート等を通して把握

上記の方々の状況について、複数回の報告会や要望書の提出を通して社会へ発信

姉妹プロジェクト福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト (FnnnP) 栃木、及び学生ボランティア FnnnP Jr.企画の避難者交流会に協力。

○地域連携活動事業

地域の振興に寄与することを目的とし、地域に根付いたテーマでシンポジウムとスタディーツアーを開催しました。(2012年日光研究プロジェクト、2013年田中正造没後100年記念「田中正造とアジア」)

— 問い合わせ先 (附属多文化公共圏センター) —

TEL/FAX : 028-649-5228

E-mail : tabunka-c@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

http://cmps.utsunomiya-u.ac.jp/

[宇都宮大学HANDSプロジェクト]

文科省の特別経費プロジェクトとして、国際学部附属多文化公共圏センターと教育学部附属教育実践総合センターが連携して「グローバル化社会に対応する人材養成と地域貢献」に関する研究活動が始まりました。このプロジェクトは主に県内の外国人児童生徒教育環境の研究および支援活動をしています。

○学校現場、教育委員会、大学との直接的な連携

- ・年に3回、栃木県教育委員会、外国人児童生徒在籍数の多い地域の教育委員会、管轄小中学校校長と「外国人児童生徒・グローバル教育推進協議会」を開催しています。
- ・年に3回、外国人児童生徒教育拠点校の担当教諭を集め、「外国人児童生徒支援会議」を行っています。また、専用HP (だいじょうぶ net.) を立ち上げています。県内すべての教員ネットワークを構築しています。
- ・外国人児童生徒に対する教育補助として、本学から小中学校へ学生ボランティアを派遣しています。

○多言語による高校進学ガイダンス

- ・日本語がよく理解できない児童生徒や保護者を対象に、翻訳資料と通訳者を介して、日本の学校教育制度や高校進学に関する基本的な情報を提供する進学ガイダンスを開催しています。

○人材養成

- ・教育学部と連携して、授業科目「グローバル化と外国人児童生徒教育」を開講しています。

問い合わせ先（宇都宮大学HANDSプロジェクト事務局）

TEL:028-649-5196 FAX:028-649-5228

E-mail: tabunka-c@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

だいじょうぶnet.: <http://www.djb.utsunomiya-u.ac.jp/>

教育学部・教育学研究科

○フレンドシップ事業（児童・生徒）

学生と子どもたちが直接ふれあい、体験を通して実践的に学ぶ機会を提供しています。科学実験、野外教育（4泊5日の集中授業の中で後半3日間、宇都宮市冒険活動センター主催の「冒険キャンプ」と合流し、参加小中学生とともに指導員の下で活動）、環境教育、宇都宮大学近隣小学校での地域行事等にて造形教育を行っています。また、小・中学校教員や指導主事、教育現場経験のある大学教員の講演・シンポジウムや教育映画の上映も行うこともあります。

○授業見学（高校生及び保護者）

高校生に教育学部をよりよく知ってもらうために学部の授業見学を秋のオープンキャンパスにて開催しています。

○説明会、高校訪問等

教育学部の紹介・進学説明会は夏や秋のオープンキャンパスで、高等学校からキャンパスに来ていただいで行いますが、大学教員が、高等学校に出向いて実施することもできます。

○教育学部出張講義

教育学への関心を高めるため、本学部教員が出向いて出張講義を行っています。

問い合わせ先（教育学部）

TEL:028-649-5242 FAX:028-649-5244

E-mail: kyisomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

[附属幼稚園]

○公開研究会（教育関係者・学生）

教育改革の大きなうねりの中、幼児教育への課題は山積しています。カリキュラムの検討、指導法の工夫、教師の資質向上等をめざし、開催しています。本園の研究および保育を公開するとともに、幼児期の教育に関する様々な課題について協議していくことを目的としています。本年度は、10月中旬の開催です。

○保育を語る会（教育関係者・学生・一般）

年間3～4回、地域の幼稚園、保育所、小・中・高・特別支援学校の教員が問題提起や事例発表をしながら保育現場での様々な問題

について協議を深めていきます。大学の教員をはじめ保育士養成学校の教員、臨床心理士等、地域社会に広く参加者を募っています。一部は栃木県幼稚園連合会と共催で実施しています。

○ オープンキャンパス（入園を希望する保護者・一般）

毎年10月下旬～11月上旬の2日間、本園に入園を希望する幼児とその保護者を対象に開催しています。保育参観、施設設備の参観、教育方針および教育内容に関する説明等、附属幼稚園の概要について理解を得ることを目的としています。

問い合わせ先（附属幼稚園）

TEL：028-622-9051 FAX：028-625-8016
E-mail：fuyo@cc.utsunomiya-u.ac.jp

【附属小学校】

○ 初等教育公開研究発表会（教育関係者・学生）

教育の理論や実際についての研究の成果を、毎年6月上旬の3日間にわたり公開しています。内容としては、国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、体育、生活、道徳、英語の時間、総合の時間、特別活動の公開授業、およびその研究協議、講演会、パネルディスカッション等となります。県内の教員や学生はもとより、全国から教育関係者を招き、指導法の工夫や教育の今日的課題について協議するとともに、新しい小学校教育のあり方を提案しています。

○ オープンキャンパス（入学を希望する保護者・一般）

毎年11月下旬～12月上旬の1日間、本校に入学を希望する子どもとその保護者を対象行っています。本校の教育方針や教育内容、受検に際しての留意事項等について説明するとともに、授業や施設・設備等を自由に参観していただくことをとおして、普通の附属小学校の様子を紹介しています。

問い合わせ先（附属小学校）

TEL：028-621-2291 FAX：028-625-8015
E-mail：ichigo@cc.utsunomiya-u.ac.jp

【附属中学校】

○ 教員研修会（教育関係者）

11月下旬、県内外の教員が自分の課題をもち、本校教員とともに研修し課題解決の一助とし、教職に関する資質の向上を図ることを目的として、宇都宮大学教育学部の教員を交え、ディスカッション等を実施しています。
研修実施教科：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語（英語）

○ 公開研究発表会（教育関係者・学生）

毎年6月下旬、教育学部と連携して、公開授業を通して新しい中学校教育の在り方の提案を行います。

○ 中高連携のための授業公開（高等学校教員）

高等学校教員を対象に、事前連絡をいただいた上で、随時授業公開をしています。

○ 入試に関わる学校見学（受験を希望する児童・保護者）

毎年10月下旬～11月末、本校の設定日にご予約をいただいた上で、希望者に子供たちの普段の学校生活を公開しています。

問い合わせ先（附属中学校）

TEL：028-621-2555 FAX：028-625-2781

E-mail：jhs@cc.utsunomiya-u.ac.jp

〔附属特別支援学校〕

○ オープンキャンパス（幼児児童生徒・保護者・一般）

特別支援学校に入学を希望している幼児児童生徒、その保護者、担任等に対して、本校の教育について理解していただくための情報提供の場としています。その内容は、本校概要の説明授業参観、施設設備の見学などです。なお、本校の教育に関心のある方の参加も受け付けています。本年度は、7月8日（水）、9月3日（木）に開催を予定しています。

○ 特別支援教育担当者研修会（特別支援教育の担当者）

特別な支援を必要とする幼児児童生徒の指導担当者の方を対象に研究会を行っています。内容は講師の先生を招いての講演や実技指導、指導上の課題についての質疑応答などです。

○ 公開研究会（教育関係者・福祉関係者・行政関係者・学生）

平成28年2月19日（金）に行います。

問い合わせ先（附属特別支援学校）

TEL：028-621-3871 FAX：028-627-4561

E-mail：tokubetsushien@cc.utsunomiya-u.ac.jp

工学部・工学研究科

○ スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)及びサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)（高校生）

文部科学省が開始した事業であり、その趣旨に沿い、高校と連携しながら教育・研究施設の開放、講座の開講、研究指導などを行っています。

○ 工学部体験教室（小学生～高校生）

一日から数日、実験や授業をとおして身近に工学に触れることによる知的啓発を進めています。

○ 産学官連携経営工学講座（学生・一般市民）

地域を活性化する経営センスを有する人材育成を目標として、栃木県内の他大学及び経済同友会、商工会議所連合会との連携を組み大学院講義として開講していますが、一般社会人の受講も広く受け入れています。

○ 産学連携セミナー・シンポジウム（一般市民）

地域共生研究開発センターなどとの共催で産学連携の積極的推進を図るためのシンポジウムを開催しています。

○ 最先端技術特別講演会（学生・教職員・一般市民）

情報工学分野を中心とした最先端技術を、外部の著名な方々を講師に招いて、分かりやすく解説します。

○ さくらフェスタ（一般市民）

4月初旬の満開の桜のなか、地域の方々に、工学部・工学研究科の活動や研究内容を親しみやすく紹介しています。花見がてら、親しんでいただける企画です。

問い合わせ先（工学部）

TEL : 028-689-6005 FAX : 028-689-6009

E-mail : kousomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

農 学 部

○ 農学部シンポジウム

年数回、学生や教職員、学外者を対象として、様々な分野の国及び国際シンポジウムを開催しています。

○ アグリカレッジ

栃木県内の農業関係高校と宇都宮大学農学部の高大連携事業の一環で、農学に対する向学心を深めるために、「農業を科学する」をメインテーマとして毎年開講します。

○ スーパーサイエンスハイスクール(SSH)及びサイエンス・パートナーシップ・プログラム(SPP)

県内外の高校がSSHやSPPを申請する際に農学部および関連施設の教員支援し、講座を開講し、また学内のさまざまな施設の見学を実施します。

○ アグリ支援機構

地域貢献の推進を図るため、平成16年4月より発足した組織です。日常にある「農」に関する質問や講演・技術指導および受託研究や共同研究のご相談などをお受けしています。

詳しくは、下記URLをご覧ください。

アグリ支援機構HP

<http://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/agri/index.html>

問い合わせ先（農学部）

TEL : 028-649-5398 FAX : 028-649-5401

E-mail : nousomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

<http://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/>

【附属農場】

○「お米と果物とミルクの不思議体験教室」（小学生と保護者）

「お米と果物コース」は、春から秋にかけて5～6回のシリーズで実施しており、季節の変化に伴う生育過程の観察や田植え、摘果さらに収穫・試食までの実体験をします。「ミルクコース」では牛の乳搾りや給餌、羊の毛刈りなどを体験できます。

○「バイオテクノロジー体験教室ークローン牛誕生の秘密に迫る！」（中学生と教諭）

実験室ではウシの体外授精やクローン胚作出実験を、牛舎ではウシ受精卵の親牛の子宮への移植や子宮内の胎子の様子の観察などを体験します。

○ オープンエコファーム（開放農園）事業（一般市民等）

有機栽培に興味があり取組もうとする一般市民等に対して、野菜畑作物等の有機農業を実践・実習してもらうとともに指導も行います。

○ 小・中学校教員のための園芸技術講習会

学校の花壇や空き空間を生かした植物栽培の基礎知識やノウハウの伝授、さらにはコンサルティングまで、現場教員の皆さんの広い要望に対応しています。

問い合わせ先（附属農場）

TEL : 0285-84-2424 FAX : 0285-84-2425

E-mail : fuznoujy@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

〔附属演習林〕

○ 「おいでよ！森のがっこうへ」（大学の森をたんけんしよう！（小学生と保護者）

夏休みに1泊2日で実施しており、森林（里山）における動植物観察、林業体験をとおして自然との触れ合い体験ができます。

問い合わせ先（附属演習林）

TEL : 0287-47-0057 FAX : 0287-47-0366

E-mail : fuzensyu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

雑草と里山の科学教育研究センター

本研究センターは、自然に暮らす生き物と、われわれ人間との間に生じた人間活動に起因する軋轢、特に雑草と野生鳥獣が引き起こす問題の解決に様々な視点から取り組み、その成果を社会に還元していきます。

本研究センターでは次のような公開セミナー、シンポジウムなどを不定期に実施していますので随時ホームページのお知らせをご覧ください。

○ 公開セミナー（学生・一般市民）

センター教員、客員教員や国内外の著名な研究者を講師として、雑草や野生鳥獣の管理、環境の修復・保全に関連した内容で不定期実施しています。

○ シンポジウム（企業人・一般市民）

著名な国内外の研究者を招へいし、雑草や野生鳥獣の管理に関するシンポジウムを開催しています。

○ センターの一般公開（高校生・教員・一般市民）

大学のオープンキャンパス時にセンター研究棟、温室等の施設見学とともに研究内容の紹介を行っています。同時に一般市民も対象にし展示も行い雑草及び野生鳥獣が私たちの暮らしの関わりについてわかりやすく説明します。当日は「何でも相談室」を設けて雑草害や野生鳥獣害に関わる相談に応じています。

オープンキャンパス時以外でも施設見学や雑草及び野生鳥獣に関する相談を随時受け付けておりますので、ご希望の方は事前にご連絡下さい。

問い合わせ先（雑草と里山の科学教育研究センター）
TEL : 028-649-5148 FAX : 028-649-5155

バイオサイエンス教育研究センター

当センターは、学内的にはバイオサイエンスの教育と学術の発展に貢献し、研究支援を通しての人材育成を目指しています。また学外には、農学部および工学部を有する本学の特色を生かし、地域と連携したバイオサイエンス研究やバイオテクノロジーの啓発、および応用研究の中核として新たな領域を開拓することを目的としています。これらの目的を達成するために、以下のような公開講座を開講しています。

○ センターセミナー（学生・教員・一般）

バイオサイエンス分野の研究者を学内外から招聘して、研究内容や成果を紹介してもらうセミナーです。

○ バイオテクノロジー体験講座（高校生・教員・一般）

毎年夏休みに高校生を主な対象として開講しています。「DNAとはなにか？」という基本的な講義や「お米のDNA鑑定」など実際にDNAを扱う実験を体験できます。

○ 高大連携講座（高校生）

科学技術振興機構の科学技術理解増進事業の支援を受けたSSHやSPPを県内の各高等学校と連携して、遺伝子実験講座を実施しています。

○ 科学実験講座（小学生・中学生・一般）

主に植物を対象とした実験を体験してもらうことで、植物の不思議に迫ります。

【放射性同位元素実験室】

放射性同位元素実験室は、放射性同位元素を利用したトレーサー実験等を行うことができる学内共同利用施設として整備運用されています。

○ 教育訓練（学生・教職員）

放射線を取扱うに当たっては、事前に教育訓練を受講するとともに、所定の健康診断を受診することが義務付けられています。本実験では本学の教職員及び学生を対象とした放射線障害を防止するための教育・訓練を毎年5月に行っています。

問い合わせ先（バイオサイエンス教育研究センター）

TEL : 028-649-5527 FAX : 028-649-8651

E-mail : c-bio@cc.utsunomiya-u.ac.jp

http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp

総合メディア基盤センター

本センターでは、ICT分野における教育研究、及び研究開発を推進しております。また、国際規格であるISO/IEC 27001 認証を取得・維持しており、マネジメントシステムによるPDCA サイクルに基づいて、情報セキュリティに関する教育・啓発活動も行っています。

○ICTセミナー（企業人・学生）

ICT（情報通信技術）の最新動向や、情報セキュリティマネジメントについての講演会を開催しています。

問い合わせ先（総合メディア基盤センター）

TEL：028-649-8620 FAX：028-649-5439

E-mail：sec@cc.utsunomiya-u.ac.jp

地域共生研究開発センター

本センターは、民間機関、他大学等からの技術相談や学内研究者との間に実施される共同研究・受託研究、研究交流等を推進するとともに、総合的・先端的な研究開発を行い、これらの情報の発信による地域社会との連携や協力を実践する場としての役割を果たしております。また、企業人、一般市民を対象とした各種の研修会、講座、講演会などを通して科学・技術についての啓発活動に注力しています。

更に、本学の研究成果や知的財産権の産業界への技術移転推進や民間機関、他大学等からの特許相談を行うとともに、知財セミナー等を開催することにより、地域の知的財産意識の向上を図っています。

○分析機器開放

本センターの先端計測分析部門が保有する分析機器を一般企業のみなさんが気軽に利用しやすい料金で利用することができます。

○ 研究シーズ発表会（企業人・一般市民）

宇都宮大学の研究成果や新技術を広く発表し、成果の普及による実用化を図っています。

○ 各種セミナー（企業人・一般市民）

現在の最先端の科学・技術や社会の出来事に関する話題を一流の講師陣を招聘し、楽しみながら学ぶ機会を提供しています。

○ 知的財産セミナー（企業人・一般市民）

知的財産権の取得・活用等に関する講義や最新の動向について、弁理士などの知的財産の専門家がわかりやすく解説します。

○ 特許相談（企業人・一般人）

知的財産権に関するあらゆる相談に応じています。

問い合わせ先（地域共生研究開発センター）
TEL : 028-689-6316 FAX : 028-689-6320
E-mail : chiiki@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

附 属 図 書 館

附属図書館では、地域に開かれた知の拠点として、当館が所蔵する教育研究のために収集した貴重な学術情報資源を、地域の皆様の生涯学習を支援するために広く開放しています。学術や生涯学習に関わる調査・研究を目的として、資料閲覧を希望する方で18才以上であればどなたでも利用できます。

○ 開館時間

平日 9:00～20:00（休業期間中は9:00～17:00）
土日祝 11:00～17:00

○ 休館日

年末年始、臨時休館日（工学部分館は日曜、祝日、振替休日、休業期間中の土曜日）

○ 利用手続き

入館の際、閲覧許可願にご記入をお願いします。入館システムが設置してありますので、その都度臨時の入館カードで入館していただけます。既に図書の出借証をお持ちの方は、それが入館カードになります。

図書館で初めて図書を借りる時には、利用者登録申請が必要です。身分を証明できるもの（運転免許証等）をご持参ください。図書貸出証を発行します。

○ 利用の範囲

館内の資料閲覧、文献複写及び図書の館外貸出ができます。ただし、文献複写については、著作権法の範囲内でお願います。

○ 図書の貸出条件

図書5冊、2週間まで借りることができます。

○ その他

利用に際しては、利用規程及び注意事項を遵守してください。ご不明な点があれば図書館職員にお尋ねください。

問い合わせ先（学術研究部図書課）
TEL : 028-649-5130 FAX : 028-649-5138
E-mail : tossoumu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

オプティクス教育研究センター

本センターは、我が国の光学技術をリードできる人材育成と研究領域の創成及び進展を目指し、オプティカルサイエンス及びテクノロジー分野における教育研究活動の推進に貢献します。

本センターでは次のような公開セミナーを不定期に実施していますので随時ホームページのお知らせをご覧ください。

○ **オプティクス教育研究セミナー（学生・一般市民）**

センター教員や国内外の著名な研究者を講師として、オプティクスに関連した講演会を不定期に開催しています。

○ **技術者と学生のためのオプティクス応用セミナー（企業人・学生）**

光科学や光技術に関する講義や実習を不定期に実施しています。

○ **センターの一般公開（高校生・教員・一般市民）**

大学のオープンキャンパス時にセンター棟の施設見学とともに研究内容の紹介を行っています。

オープンキャンパス時以外でも施設見学や光に関する相談を随時受け付けておりますので、ご希望の方は事前にご連絡下さい。

問い合わせ先（オプティクス教育研究センター）

TEL : 028-689-7074 FAX : 028-689-7075

<http://www.opt.utsunomiya-u.ac.jp/>

U U プラザ

UUプラザは、教育研究情報の公開や最新の教育研究成果を発信して地域連携・貢献・協働を目指す場であるとともに、学生・教職員、同窓会、OB/OG、受験生とその保護者など地域の方々が広くコミュニケーションを図る場として、利用できます。

○ **開館時間**

平日 9:00～17:00

○ **インフォメーションフロア（1階）**

パンフレットの配布・閲覧、教育研究成果の展示等を行っています。懇談スペースは、どなたでも自由にご利用いただけます。

○ **コミュニティフロア（2階）**

可動式の椅子・テーブル、プロジェクタを備えた多目的スペースです。利用予約が入っていない時間は、懇談スペースとしてご利用いただけます。

貸し切りでのご利用は、半日（4時間以内）6,400円、全日（4時間を超え8時間以内）12,800円が必要となります。（本学学生、教職員、同窓会及び近隣地区自治会は無料です。）

問い合わせ先（企画広報課）

TEL : 028-649-5007 FAX : 028-649-5026

E-mail : renkei2@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

事務局

○ オープンキャンパス

毎年夏と秋に、学部学科や各教育研究センター等の施設の紹介及び体験授業や研究室見学等を行うオープンキャンパスを開催しています。
(企画広報課)

○ 宇都宮大学説明会 (随時)

高等学校等へ出張し、宇都宮大学説明会を行います。ご希望がありましたら下記までお問い合わせください。
(企画広報課)

○ 出前授業 (随時)

高等学校への出前授業を実施しています。講師派遣の可能な時期や申込方法についてはホームページをご覧ください。ご希望の日時によってはお引き受けできない場合もありますので、予めご了承ください。
(企画広報課)

○ 大学見学会 (随時)

高等学校生徒・教員(団体・個人)、保護者の方、一般市民の方向けに、本学の学部・学科やその教育内容を紹介するとともに、キャンパス内を見学し、本学への理解を深めていただいています。受入可能な時期や申込方法についてはホームページをご覧ください。ご希望の日時によってはお引き受けできない場合もありますので、予めご了承ください。
(企画広報課)

○ 科目等履修生制度

生涯学習の推進を図ることを目的とし、社会人等に対して学習機会を拡大する観点から設けられた制度です。特定の授業科目の履修を希望する方に対して、授業に支障のない範囲において選考の上、授業科目の履修を許可しています。また、特定の専門事項について研究指導を希望する場合には、研究生制度があります。
(修学支援課)

○ 大学祭 (峰ヶ丘祭)

毎年11月に、峰ヶ丘祭実行委員会(学生団体)主催による大学祭が実施され、本学の教育・研究、サークル活動などの各種の展示、研究発表、活動報告などを公開し、また、各種シンポジウム、模擬店、花火などを開催しています。
(学生支援課)

○ 社会人特別入試

一度社会に出て、専門分野の必要性から大学入学を希望する方、また生涯学習という観点から、定年を迎え再教育を受けて知識の修習得を目指す方を受け入れる。
(入試課)

問い合わせ先

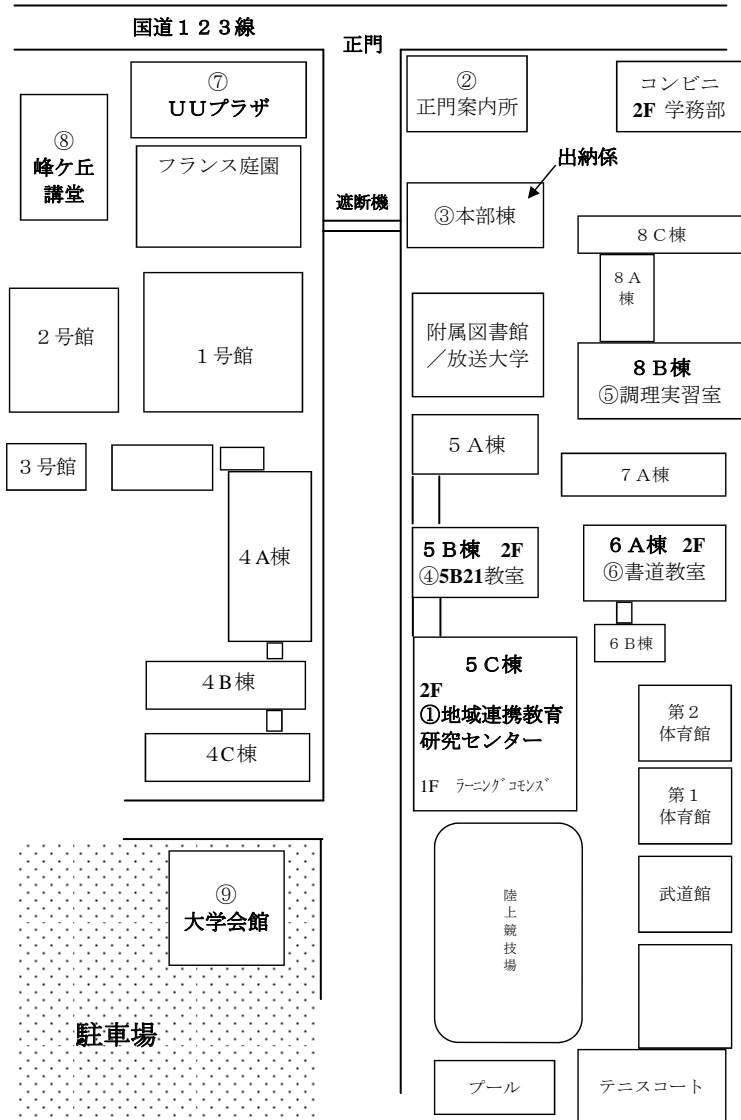
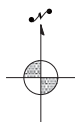
(企画広報課) TEL : 028-649-8649 FAX : 028-649-5026
E-mail : plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

(修学支援課) TEL : 028-649-5090 FAX : 028-649-5095
E-mail : shu-nou@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

(学生支援課) TEL : 028-649-5097 FAX : 028-649-5115
E-mail : gakgakus@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

(入試課) TEL : 028-649-5112 FAX : 028-649-5113
E-mail : gaknyuu1@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

宇都宮大学校内建物配置図 (峰キャンパス)



- ①公開講座受付および実施会場
- ②車輸入構パスカード受取場所
- ③公開講座受講料納入場所

地域連携教育研究センター以外で 実施する講座の会場

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 「常識」と「真実」とは合致するのか？ | ④5B21教室
(峰町5号館B棟2階) |
| 2. 女性の力を企業の力に！ | ④5B21教室
(峰町5号館B棟2階) |
| 5. 現地で学ぶ「宇都宮学」 | とびやま歴史体験館
(学外) |
| 8. 宇都宮城と蓮池7 | ⑨大学会館 多目的ホール・トークルームI |
| 9. 韓国料理入門／10. タイ料理入門 | ⑤調理実習室
(峰町8号館B棟2階) |
| 14. 書道 | ⑥書道教室
(峰町6号館A棟2階) |
| 20. クラシック音楽への招待2 | ⑧峰ガ丘講堂・他 |
| 21. フィットネスウォーキング | ⑦UUプラザ・他 |
| 22. 基礎から学ぶ朗読講座 | ⑦UUプラザ |

* 入構許可証は地域連携教育研究センターで発行します。
車両入構パスカードは毎回正面案内所にて受け取って下さい。

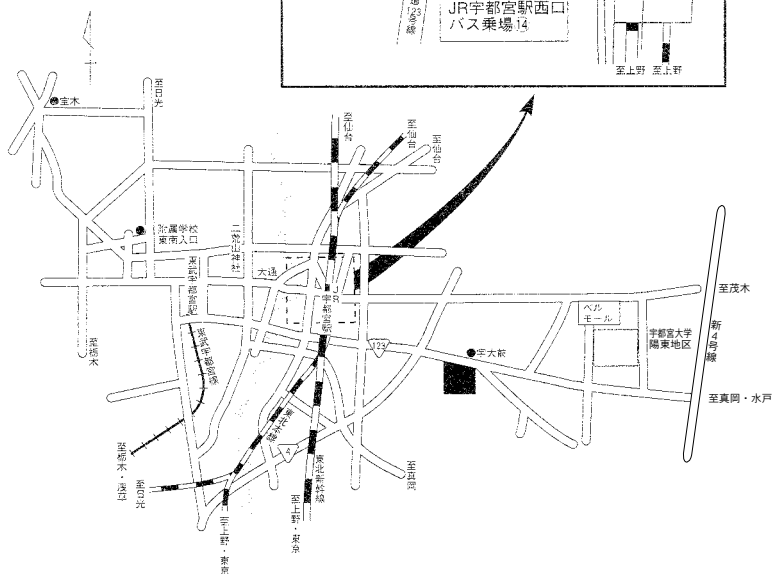
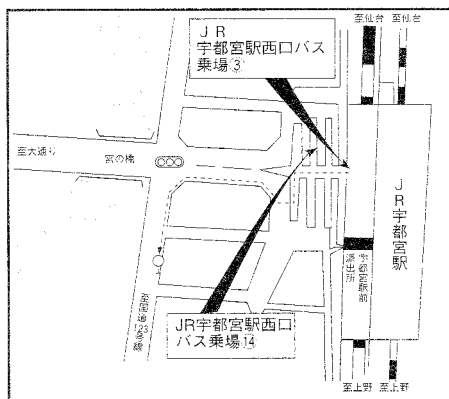
* 上記以外で、宇都宮大学以外の施設を利用する講座につきましては「公開講座科目内容の紹介」をご覧ください。

* 諸般の事情により、会場が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。その場合は、当該講座の受講者へ直接ご連絡致します。

* 車でお越しの受講者は必ず大学会館南側の駐車場に止めて下さい。
センター前の駐車場はご利用頂けません。

宇都宮大学までの交通

JR宇都宮駅バス乗り場



バスで来学される方へ

JR 宇都宮駅西口より

3 番乗場JRバス

清原台団地、祖母井、茂木行きなど
(乗車約15分、宇大前下車)

14番乗場東野バス

真岡、益子、海星学院行きなど
(乗車約15分、宇大前下車)

JR 宇都宮駅東口より

関東バス

宇都宮駅東循環バス左回り
(乗車約10分、宇大前下車)

平成27年度カレンダー

2015

④

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

⑤

日	月	火	水	木	金	土
.	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 ₃₁	25	26	27	28	29	30

⑥

日	月	火	水	木	金	土
.	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

⑦

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

⑧

日	月	火	水	木	金	土
.	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 ₃₀	24 ₃₁	25	26	27	28	29

⑨

日	月	火	水	木	金	土
.	.	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

⑩

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

⑪

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

⑫

日	月	火	水	木	金	土
.	.	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2016

①

日	月	火	水	木	金	土
.	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 ₃₁	25	26	27	28	29	30

②

日	月	火	水	木	金	土
.	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

③

日	月	火	水	木	金	土
.	.	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		